

高知県健康づくり支援システム・健康福祉カルテの概要

〈概 要〉

健康づくり支援システムは、市町村などから国や県に報告された保健・医療・福祉に関する統計情報を収集加工・貯蓄し、共有利用できるシステムです。

このシステムの運用によって、各種統計情報を市町村比較による地域課題の抽出や施策の評価などに役立て、健康づくりを県民自ら実践することを支援することを目的としています。

〈機 能〉

システムの機能は、利用者が情報を独自に集計・加工ができるよう、登録された情報毎に西暦年や性別、市町村などを指定し、表示・印刷・ダウンロード(CSV ファイルとして出力)・グラフ表示します。

〈利用方法〉

本システムは、インターネットに接続されたパソコンからインターネットブラウザを用いて利用できます。

URL = <http://www.med.net-kochi.gr.jp/kdws/>

注1： 本システムの利用は InternetExplorer5.01,Netscape4.7 以上のインターネットブラウザを利用して下さい。

(システム定義)

システムに登録されている情報の定義は次のとおりです。

形式

総数及び年齢 5 歳階級の統一された項目で数値を持っています。

データ区分

登録されている情報の出典や内容により分類しています。

年次

情報の種類により、年度・年次・調査年等、情報の得られた時期は異なりますが、本システムでは、それらを西暦年で登録しています。各情報の年次範囲はデータの詳細画面にある出典情報または指標の説明により確認してください。

性別

男女計を「総数」として登録しています。また、性別に集計できない情報について本システムでは、全て「総数」として登録しています。

市町村

市町村コードは合併前後で選択できます。

・旧

平成 17 年度時点での市町村名で情報を取得できます。
ただし、合併後の情報は登録されていないので取得できません。

・新

現在の市町村名(前年度の市町村区分)でデータを取得できます。
その場合、過去のデータも合併に合わせて集計したものが取得できます。
(合併した年・年度・合併後の市町村で集計しています。)

なお、保健所・保健医療圏の情報は、新旧どちらの市町村コードでも、合併後の現在の管轄で集計したデータになります。

細分項目

情報の種類により、西暦年・性別・市町村以外の区分として細分項目を最大 3 階層まで持っています。

例：人口 3 区分

全年齢、年少、生産年齢、老人

出力ファイルの形式

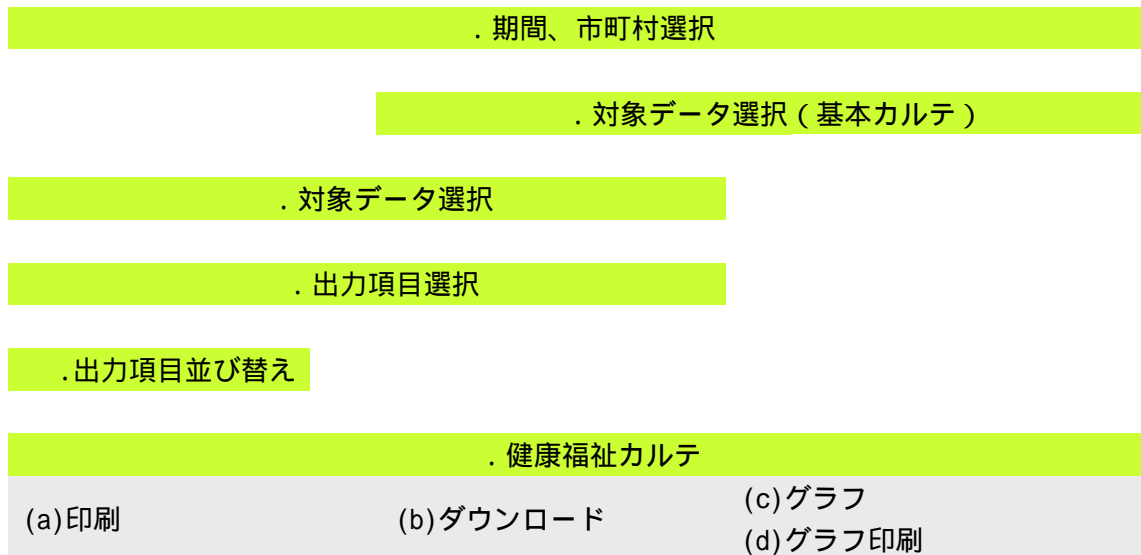
本システムにより出力されるファイルの形式は、CSV形式(カンマ区切りテキスト)のみになっています。出力される情報の内容は、先頭行に項目名が出力され、性別・市町村・細分項目はコード番号と名称が出力されます。

出力ファイルを Microsoft Excel で使用する場合は、CSV ファイルをそのまま開いて利用できます。

なお、死亡情報はデータの登録総数が 10 万件を超えていますので、Excel で利用する場合は、必要な情報のみを選択して出力して下さい。

(処理の流れ)

健康づくり支援システム・健康福祉カルテの処理の流れは次のようになります。



期間、市町村選択

西暦年、対象期間(5年間・10年間)、市町村など必要な項目を選択します。

対象データ選択 (基本カルテ選択)

閲覧するカルテを選択します。

このカルテは、あらかじめ対象データ・出力項目・並び替えがパターン化されている情報です。流用して他のデータや細分などをプラスして閲覧することもできます。

対象データ選択 (任意の情報を選択)

絞込み検索を活用し、取得したい情報を選択します。

出力項目選択

の対象データ選択で選択した情報の細分別に総計・男性・女性を選択します。

出力項目並び替え

で選択した出力項目の並びを設定します。

健康福祉カルテ（印刷・ダウンロード・グラフ）

～ または ～ に基づいた情報が画面に表示されます。

(a) 印刷

健康福祉カルテを印刷します。

印刷は1ページあたりの行数を設定し、1ページ毎に印刷ボタンで印刷を行います。

(b) ダウンロード

健康福祉カルテをダウンロードします。

保存場所を指定し、情報を出力します。

(c) グラフ

健康福祉カルテの内容をグラフ表示します。

(d) グラフ印刷

(c)の内容を印刷します。

印刷は1ページあたりのグラフ数を設定し印刷ボタンで印刷を行います。